

社会認識と自然認識の基礎を統合的に育成する 生活科授業

著:酒井 達哉・原田 信之・宇都宮 明子

1989年の学習指導要領改訂時に、小学校低学年の理科・社会を廃止し「生活科」が設置されて約30年。理科領域と社会領域をともに扱い、中学年以降の理科・社会科への接続も担うという生活科という教科の課題と展望を同様の教科があるドイツの事例も参考にしながら論考する。



◆目次

- 第1章 時間意識の育成という観点から捉える初等段階の歴史学習
ードイツ事実教授の教科書における時間学習を通してー
- 第2章 歴史意識の連続的形成を図る初等・中等接続研究 ードイツ教科書の分析をもとにー
- 第3章 歴史意識の基礎を育成する生活科授業開発 ー学校の今と昔に着目してー
- 第4章 横断的・縦断的な接続を図る生活科の再構築
ーノルトライン・ヴェストファーレン州事実教授レアプランを手がかりにー
- 第5章 認知系・非認知系コンピテンシーを輻輳的に育成する生活科授業開発
ー統合教科の新しい展望に向けてー
- 第6章 認知系・非認知系コンピテンシーを輻輳的に育成する生活科の授業実践

◆著者紹介

酒井 達哉 (さかいたつや)

武庫川女子大学教育学部教育学科教授。博士(教育学)。主著『感動を生み自信を育む 子どもと教師がともに成長する 総合的な学習 充実化戦略のすべて』(共編著, 日本文教出版, 2006年), 『総合的な学習の時間の指導法』(共編著, 日本文教出版, 2018年)など。

原田 信之 (はらだ のぶゆき)

名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授。博士(教育学)。主著『ドイツの統合教科カリキュラム改革』(ミネルヴァ書房, 2010年), 『ドイツの協同学習と汎用的能力の育成』(あいり出版, 2016年), 『カリキュラム・マネジメントと授業の質保証』(編著, 北大路書房, 2018年)

宇都宮 明子 (うつのみや あきこ)

島根大学教育学部准教授。博士(教育学), 博士(人間文化)。主著『新しい歴史教育論の構築に向けた日独歴史意識研究ー構成的意味形成を図る日本史授業開発のためにー』(風間書房, 2020年)ほか。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売: 株式会社三恵社 TEL 052-915-5211 Fax 052-915-5019
	冊	酒井 達哉 著 原田 信之 宇都宮 明子 社会認識と自然認識の基礎を 統合的に育成する生活科授業 148頁/A5判/ソフトカバー 定価 1,700円(税込) ISBN978-4-86693-699-4 C2037
ご注文は、JRCへ FAX03-3294-2177 (TEL: 03-5283-2230) 株式会社JRC 経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		

※取次配本はありません。